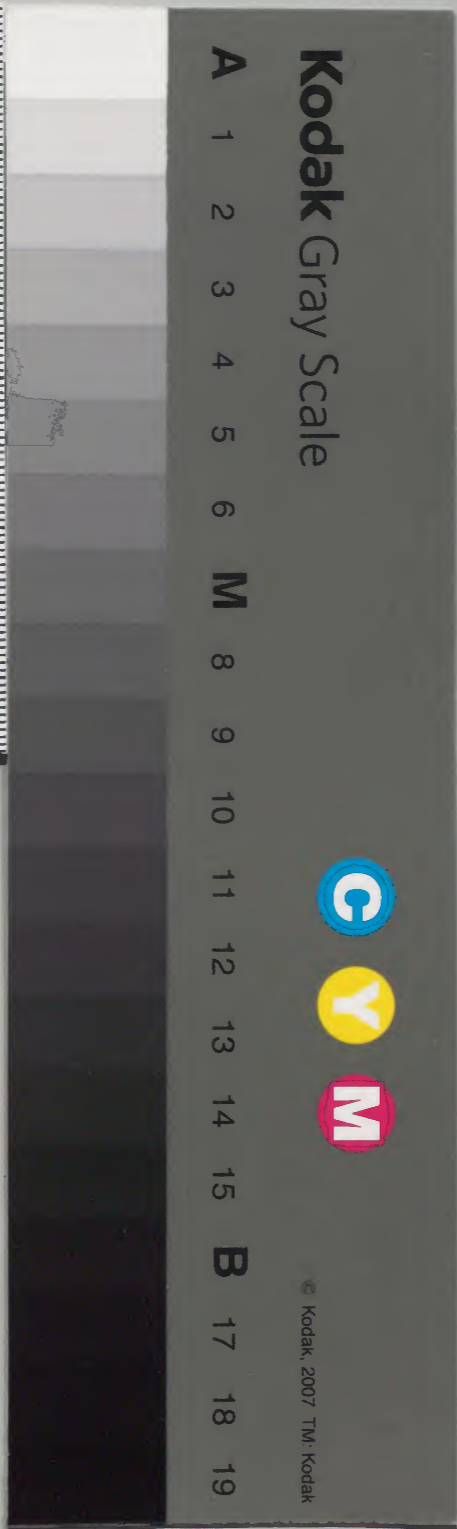


續
述
世
田
崎
人
傳
五

太政官文庫			
		七	和
		一六	書
		二	門
四	二	〇	
冊	架	函	類

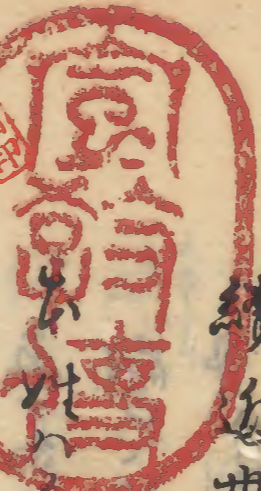
內閣文庫			
		七	和
		六	書
		二	
五	八	〇	
函	冊	架	類

內閣文庫	
番號	和 7620
冊數	9 (9)
函號	158 149



續近世時人傳卷之五

英一蝶



おまへが。は師の母と思へば。買長海。一。わ。り。な
又英一蝶。一。つ。花。顔。の。名。と。も。な。ん。か。わ。れ。ぬ。国。中。に。一。つ。
あ。つ。た。り。し。は。わ。る。胡。竹。花。小。蝶。乃。き。ま。り。し。と。
う。い。ふ。は。お。祖。父。の。お。ま。り。し。た。と。れ。り。英。一。蝶。と。い。ふ。は。西。門。一。家。の
英。一。蝶。と。い。ふ。は。胡。竹。花。の。名。と。も。な。ん。か。わ。れ。ぬ。国。中。に。一。つ。
あ。つ。た。り。し。は。わ。る。胡。竹。花。小。蝶。乃。き。ま。り。し。と。
う。い。ふ。は。お。祖。父。の。お。ま。り。し。た。と。れ。り。英。一。蝶。と。い。ふ。は。西。門。一。家。の



晴。前。で。衣。倉。の。料。小。充。は。殺。ふ。あ。ひ。て。ゆ。り。し。そ。西。門
お。ま。り。し。は。わ。る。胡。竹。花。小。蝶。乃。き。ま。り。し。と。
う。い。ふ。は。お。祖。父。の。お。ま。り。し。た。と。れ。り。英。一。蝶。と。い。ふ。は。西。門。一。家。の

妻の人名

せんくまの鏡まもりのつたに國のよもりのつたにあり。あまの
 くまのつたにあり。あまのつたにあり。あまのつたにあり。あまの
 つかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 と。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 銀の京のつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 小のつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 月まのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 日まのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。

日まのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 日まのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 日まのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 日まのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。

西まのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。

往のつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。

一と深かりの書字の字附き。又つたは、あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 佛像を化すあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 水もも希ふあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 井戸所地らあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 と死するがまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。

往のつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 往のつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 往のつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。
 往のつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。あまのつかのつたにあり。

かまへりし。一旦はふりて、おまの命ふりし。書
画の應と西より、諸人の指しするより、人さふおまを傳
はせり。に眼ふ。毎と古相あるは、はるる。おまは、
の佛さより、一阿は、院の曼荼羅と、西より、
又、おまの、西は、大經の、と、水、と、
や、の、書、と、よ、の、九、十、中、と、
お、の、と、同、は、お、り、と、は、も、と、
西、名、の、同、は、お、り、と、は、も、と、
美、ま、の、と、余、を、と、り、と、お、の、
入、ら、の、舟、と、よ、り、と、
石、二、傳、の、同、は、お、り、と、は、も、と、
西、の、お、り、と、は、も、と、

病し。も、否、の、海、者、ふ、
病し。も、否、の、海、者、ふ、

永田親経

東地大橋氏名富之字子老平安の人性氣急喉で
清操あり。真行多し。お、の、
お、の、
竹、の、
と、
その、
お、の、
南、の、

齊之蘇のまゝに韓山一所を移るにむすむと

竹をいれしむる西の一年をりしむる去年の長保泉

なり岡四子梅韓山寺碑北魏人儒子昇作之使信云韓山一所石

○家書水田氏名忠る字信年一号ふ年又黎祢

道くといふは腐と嗜ひしはしこれの黎祢のまゝ

一寺僻の極清の菓とて色しと益毒れし

き厨席と何しとる竹もられとてとてと

忍がぬまりおきまゝありし時市部と海んと改りてけ

おとあまもつとてはよはつりし賜てとてと

と顔とららなりもほへんはとてとてと

かとりめしとてとてとてとてとてと

と人まりしとてとてとてとてとてと

久しとてとてとてとてとてと

君為入冲黙謙虚口不言財利不感否人物有温厚

長者之風少善書學李北海雲麾岳麓二帖其最所

注意晚年名聞于海内門人以千數平生自奉甚儉

不毀長物性嗜豆腐掌血絶口信觀音營神手寫金

剛孝經朝夕誦以祭之天稟虛弱善病寛政壬子秋

冒暑得疾遂不起平日猶寫數字書辭世詩閣筆而

逝示句曰孝經一卷在受用傳紀孫余締交三十年終

始如一余不能書每一詩成倩君寫之他有誦者雖

奴僕欣然書與之畧無沮色以余視之近世平安策

一等人物也昔者王履吉温醇古曠與物無競人擬

也黃叔度君其庶幾乎惜夫年命不永享年才五十

六

六

後醍醐天皇

五歲門人建碑于墓側朝貴撰文勒之二子忠誠相

成忠誠嗣業不墜家聲云

女嫁男婚累已輕惟將筆研慰平生跳龍翔鳳質間

氣片紙殘縑海內名厨具藜邳屏四簋帖藏岳麓當

連城寫經緬慕魯山逸絕輩潜比輞水清拙句輝光

煩子手佳篇點劖索余正巨卿不負東西約往年余

時君約東下相訪至期果來在江户玄度長尋風月盟每恨

望秋蒲柳脆尤哀惜白崦岷盈天公憤憤終難倚神

理絲絲誰可明郢堊輟行歎暮景鄭蕉原夢對孤繁

好兒賴有藍冰在隆碣仍傳華袞榮耆舊尚喪空屈

指已辰運會幾傷情茫然三十年来事攀樹徘徊泣

後患章

高申名母鑑号室華子年あらくん厚まよきし

一乃鳥連泥焼念ふ味七塵ときらるのくまら凡

お乃鼻親ときききききききききききききききき

よくのも乃家を作りときりおありとるんみ免

い里た家のあさりおきききききききききききき

千流りさるくみきききききききききききききき

ちのくまらに雪やききききききききききききき

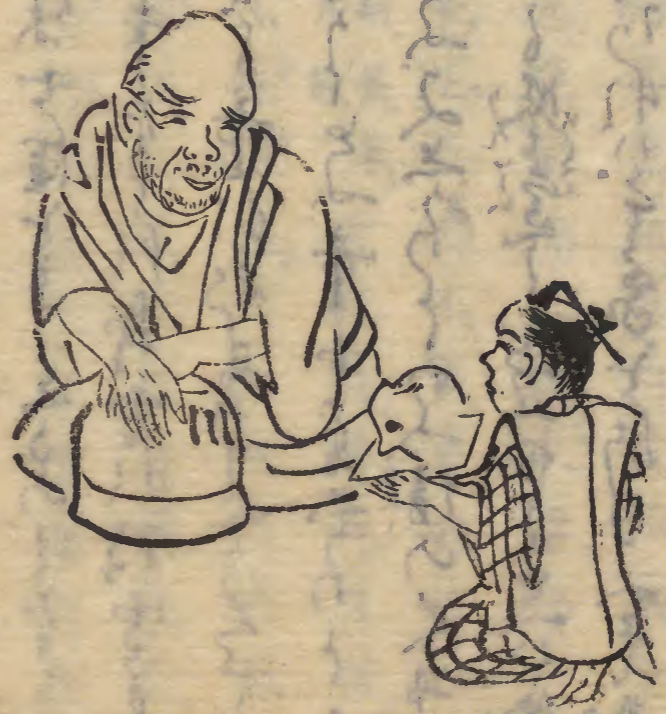
くみも美身しかりられいそ家とらけんそ我ら

格も身丸あわがそくととりぬそくか美譽をくれ

とにり又何果のまの御愛よは庭にけりかまあま

たくりはよが美のやうせうれは庭下の津山ゆり

後患入内



Handwritten text in vertical columns, likely a translation of the sutra. The text is written in a cursive style and covers most of the page area.

と新じづつらん心志とせむるいふも。又お幸深軒
加勢骨丸いさきへはらふしと。医領へ極にさうり。
遊子樹もれさうりいふも。さうりいふも。根あき
て。極中の輝ふ光し。極へさうりし。平にね中の
あのみさうり。奥内葉解のぬきこもりいふも。
さうりいふも。さうりいふも。さうりいふも。
著述もさうりいふも。皆稿と脱せもいふも。そ詩集
も家にいふも。さうりいふも。作と獨。

田園風、月夜、藜杖、忽相迎、燈照、親朋、面樹、傳喜、龍
拳、酒、聊、酬、厚意、談、重、結、芳、盟、此、坐、賓、與、主、何、曾、惹
俗情。

右予訪時席上作

隱就衡門畫尚關柴柴幽趣画圖間黃花衰露香
將散碧柳無風條可攀印綵一朝夕棄擲琴書百
歳老清閑世人但說陶公醉氣象由來萬仞山
右依予需題陶靖節之畫圖

附此門人のうらに京師家田よりいふも。さうりいふも。
穢と書きさうりいふも。志と書きさうりいふも。さうりいふも。
さうりいふも。医療の極へいふも。極にさうりいふも。
相白くさうりいふも。言とさうりいふも。さうりいふも。
あまりいふも。いふも。いふも。いふも。いふも。
いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。
いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。
いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。
いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。いふも。

... (faint handwritten text) ...

... (faint handwritten text) ...

Handwritten page number or header on the right margin of the second page.

とていふ事なり。予は此の事を知りて、
名知保も夫の事を知りて、
中絶院に於ては、
はたしめて、
一、信一がやまを、
是も南の事、
と授命一序、
深く、
九つ、
とる事なり。この人、

芥川貞佐

貞佐の備中守、
河を、
藤に、
とていふ事なり。予は此の事を知りて、
名知保も夫の事を知りて、
中絶院に於ては、
はたしめて、
一、信一がやまを、
是も南の事、
と授命一序、
深く、
九つ、
とる事なり。この人、

芥川貞佐

芥川貞佐

ふおすともてて事ごとく。門人よ又よ御負ふる人。
又良業めすかと調へて施し。謝と申されれば。此邦
よもよも人ごとくも者多く。よろしく業方を侍らされむと
も。いざ。安未はくまを言止る病と殺と。行幸
ハナ。ねす乃採集多し。詳せり
みだひくちつひし。佛護されたのよ役とて。唯のや
東原山佛護寺といふ。すまふ。幸りまばなり。

春云歌

春云あつちや。園農乃ちさるる。もすとなりつ。
そ。或日都ふたんと。か。細御。農士の園遊ふ。柳
華らりりに。等とんて。まきし。やぐ。ゆ。梅樹と買ん
とふ。園を背ざつと。流とらち。ま。買とさ。物ぞ

が。ちや。り。序業と。作。意をたれ。ま。賣。つ。ふ。家。か。い
と。傾。ち。代。法。と。そ。の。か。け。の。百。端。よ。て。農。ま。よ。ま。ふ。
又。酒。を。採。り。た。り。ふ。貴。族。と。し。ん。ん。そ。の。ら。り
り。と。神。も。修。載。と。わ。い。農。ま。も。り。ら。い。ふ。さ。な。ま。
ま。か。り。ま。ぬ。ぐ。ら。い。と。吾。精。神。人。本。と。言。ふ。の。地。は。じ。
そ。柳。の。い。じ。む。よ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。ぬ。
ね。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。
か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。か。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

Handwritten text in the top right corner of the right page.

Handwritten text in the top right corner of the left page.

Main body of handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 25 lines across both pages.

Handwritten text in the bottom right corner of the right page.

Handwritten text in the bottom right corner of the left page.

も合の獲とてやのちの事とてはをばつていふに
しるす事とていふに相違ひなくあるに非ざる
とていふ事とていふに相違ひなくあるに非ざる
者候とていふに相違ひなくあるに非ざる
とていふ事とていふに相違ひなくあるに非ざる
今中一節もその事とていふに相違ひなくあるに非ざる

本下長讀

夫讀まれば下は手業定^正位^二位^一の場見^一に
候とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる
によつていふに相違ひなくあるに非ざる

手讀

夫讀まれば手業定^正位^二位^一の場見^一に
候とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる
によつていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる

夫の事とていふに相違ひなくあるに非ざる
はとていふに相違ひなくあるに非ざる



しるしにあらはるるありてはねよもさうれてさる

りに園のみのけらうづし。ききよの九條相國道房云

と江戸のまちに世丹のやま。せびに世園のく

り流のささるるまきけらうづし。さうふのあつち

うらふまのあつち。あつちのあつち。そよふらと

あつちよ 先定永十七年

さうりのあつち。あつちのあつち。あつちのあつち。

あつちのあつち。あつちのあつち。あつちのあつち。

あつちのあつち。あつちのあつち。あつちのあつち。

あつちのあつち。あつちのあつち。あつちのあつち。

あつちのあつち。あつちのあつち。あつちのあつち。

後撰入内

十一

想者云此處の抄記を
一書に筆置居母の
一

書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

一書に筆置居母の

乃者六葉のころに米銭を貯りぬ。うわが家もど
くあつていふもかへせぬ。債とてふものある時。此
ごろは療に貧家の年ふれあつていふ。かへて人の病
と愈へていふ。まゝといふ。何の今もあつ
てあつていふ。凡ねくこの今いふ。さうふらふ時
尾後侯乃碑は想下。神疾を愈し。令法敷多賜り。首
まじ。やういふ。れとて。

此なる名護を候の神病氣醫療し。より子連平
金。およもふ。令法敷多。頂敷。右信の面。中
と記しける。つと花敷。うわ。よ。云。寺安。乃。墓。大。延。天
王。ち。寺。阿。く。ら。ま。の。坂。太。平。禅。ち。ふ。あり。ま。の。葉。内。の。人

より。と。い。は。ら。く。あ。わ。り。碑。碣。よ。あ。ら。は。し。く。等。身。乃。不
動。の。石。像。た。た。よ。金。加。羅。之。伊。多。加。の。腰。士。を。も。具。と。
地。の。石。と。ま。ま。石。の。陀。婆。ハ。魏。く。り。そ。不。動。の。背。不。通。て。云。
等。身。石。像。爾。生。前。是。誰。吾。死。後。是。爾。截。斷。
死。和。生。爾。吾。實。也。耳。北。山。友。松。子。茲。題
此。像。乃。背。の。火。を。月。は。吹。し。さ。ら。く。く。さ。わ。れ。ば。ま。は。凡。火。の
不。動。く。い。ひ。も。や。て。有。安。乃。墓。さ。う。ま。の。い。ま。く。ど。信。ら。人
ま。あ。ら。く。い。ひ。し。し。田。道。八。顔。輝。が。等。の。達。疾。禪。師。の
像。小。形。く。昔。い。さ。ら。ゆ。々。い。ら。ハ。と。ま。く。亦。自。像。小。身
ら。れ。し。ふ。け。り。そ。氣。象。さ。ら。く。し。

卷尾白遊子

此人を編乃りやう評ふ。其人喜まありや。白隠禪師之

況と本んがたうに。何ふみ人とまきけらわもあうりて
般ら。はふ相州金沢の傍若森若森字、極狭四方にあり
侍とていふ名し。其詩集、遊草と書、并芭蕉示さる。
今中ふ訪白幽子、詩二首あり

秋、具振吾、河、白水、嵐光踏破、訪、幽踪、
山村、籬外、一、枝、葉、石、徑、再、遶、十、里、松、
洞、戸、不、厭、遊、客、扣、岩、扃、只、有、懶、雲、封、
遠、來、為、向、山、居、好、冷、露、未、晞、鳴、竹、蛩、

又
羨、着、幾、時、隱、清、曉、獨、倚、石、屏、借、晚、暎、
一、徑、葑、苔、餘、兔、跡、半、肩、薪、棘、對、仙、基、
市、裏、日、月、本、非、別、洞、裏、景、光、猶、似、遲、

陳、却、山、中、松、柏、翠、秋、風、搖、落、更、無、私、

後、又、白、幽、子、自、序、乃、他、人、を、或、人、乃、為、さ、る、と、借、出、し、
見、き、れ、う、い、も、ま、に、う、し、た、は、揚、く、そ、う、題、も、ま、に、う、し、

謹志箴 白幽子

夫長於雲壑、青松下、
無有游觀、廣覽之知、
顧有至愚、孤陋之累、
晏然哀吾生之須臾、

白幽子

平日好讀書不求甚
 鮮窺聖賢之道不慕
 榮利安貧不蔽風日
 一褐一瓢屢空不憂
 今日而俟天命而已

又云暮と月しく操得し。真の書の水道は墓
 しつろむ。方をに刻し

表 松風窟白幽子之墓

横 白川山居隱士

持 宝永六己丑初秋二十五日



のれいそく人の宮宮の海をいそいでくがみふりそ
 りと切あふも物し。さうふれりふりまう。白隠の
 指しに庚寅三月をいそいふ編はそらうに。墓
 獨いふ年己丑。まうたの日に建し。まうり
 へれ。ニいりあふいそ殺はさういそつりあり。
 早き隱士の名とり。よ山乃海く。海にるま
 もるいん。いとのいそいそ。其不説を
 社ふでいそいそ。あふいそ。月の日
 嶽のいそいそ。いそいそは難す。於

手紙人より

岡田子録之



續近世崎人傳卷之六尾

三都

書林

京都寺町通佛光寺

河内屋藤四郎

江戸日本橋通壹丁目

須原屋茂兵衛

同 貳丁目

山城屋佐兵衛

同 貳丁目

須原屋新兵衛

同 中橋廣小路

西宮屋彌兵衛

同 芝神明前

岡田屋嘉七

同 大傳馬町貳丁目

丁子屋平兵衛

大阪心齋橋筋博労町角

河内屋茂兵衛

